

令和6年度 第3回 中川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年11月1日（金） 13時15分から15時30分まで
- 2 開催場所 中川小学校 南校舎3階 多目的室
- 3 出席委員 山岡照彦 高柳弘行 内山有香 三原弘明
伊東拓郎 内山南
谷川美帆（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 松井孝悦 伊藤浩之
- 5 学校 石山知義（校長） 勝永昌宏（教頭） 石原勝行（教務）
- 6 教育委員会 なし
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 勝永昌宏（教頭）
- 9 協議事項
 - （1）議長の選出について
 - （2）本日の学校公開について
 - （3）令和6年度第1回学校評価アンケートの結果について

10 会議記録

司会の石原教務から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、内山委員から伊東委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

（2）本日の学校公開について

5時間目の授業参観を終え、委員からは以下の発言があった。

英語の授業でタブレットを利用しているクラスがあった。動画教材は、目と耳を使って学習ができる。（内山委員）

2学期の4年生は、たくさんのゲストティーチャーが来た。福祉についていろんな感じ方ができる。1年生のタブレットでは、前は困っている子が多かったが、今回は子供がどんどん進めている。子供の順応の速さに驚いた。（谷川委員）

1年生の人数（1学級20人）と6年生の人数（1学級30人）の差が大きく感じた。

1年生くらいがちょうどいい。2年生は、九九を大きな声で唱えていた。声を出す授

業は日頃黙っている子はすっきりすると思われる。（高柳委員）

体育や総合など、いろんな種類の授業が見られた。車いすの講師によるボッチャ体験は、4年生の中に車いすの児童もいて、その子にとってもいい経験になっている。支援級は芋ほりで掘るのに夢中になっていた。前回よりも活発になっていた。（山岡委員）

すれ違う時にあいさつがたくさん返ってきた。1年生のタブレット操作が早くて驚いた。2年生は、体育の声が元気よくてよかった。できるだけ外で発散させる時間を作ってあげたい。4年生は、福祉の学習で、いろんな人と触れ合ってほしい。（内山委員）

5年生の外国語では、大谷選手の映像を使っていた。子供の関心がある教材で良かったが、先生の準備が大変だろうと感じた。（三原委員）

1年生は1学期よりクロームブックが使えている。4年生は福祉の学習で楽しそうに活動していた。子供にはもともと壁はないのかもしれない。（伊東委員）

（3）令和6年度第1回学校評価アンケートの結果について

石原教務からアンケート結果の報告があった。

全15項目。内容は昨年度と同様。

（高柳委員）放課後児童会の人数が、50人ほど。その中で宿題はしやすい環境になっているのか。

（石原教務）大勢いるので集中しにくい環境かもしれない。タブレットの宿題は、時間帯を決めて学校の校舎も使っている。

（山岡委員）あいさつについて。子供と保護者と教師との考えの差がある。数値の差がなくなればいいと思う。思いやりもそうだが、一日でできるものではないので、何かに絞って取り組むといいと思うが、昔より無理強いはできない。

（三原委員）あいさつは、自治会でも取り組んでいる。民生委員が交差点であいさつ運動をしているが、あいさつは、実際はもっとできている印象をもっている。

（谷川委員）学校生活が楽しいと思わないと回答した子の理由は、アンケートでは分からない。理由は、勉強なのか友人関係なのか。昨年も同じ人数くらいいたので改善したい。昔は夏休みに補習があった。CSで実現出来たらいいと思っているが、なかなかボランティアは集まらない。学校では、生活が楽しくない原因は把握しているか。

（石原教務）毎日登校渋りの子はいる。原因は人間関係トラブルが多い。家庭の問題もあるし、その日の学習内容が心配という子もいる。心配が体調に現れる子もいる。

（伊東委員）休まず来ているだけでも努力の証。温かく迎えてほしい。

（山岡委員）今は、保健室登校はあるか。

（谷川委員）保健室のルールはあるのか。

（石原教務）その子によって約束を決めている。養教と相談して教室に行く時間を決めている。

（石山校長）中学校は、保健室1時間までと聞いている。それに合わせたいと言っていたが、保護者と相談して決めている。

(谷川委員) 学習が理解できない子に対しては、どう対応しているか。

(石原教務) 一斉学習と協働学習と個に応じた学びなど実態や内容によって形態を工夫している。

(山岡委員) タブレットを使った授業で書く力は落ちていないか。

(石原教務) 今の国語の授業は、書く場面が増えている。タブレットで代用することもあるが、書く力に影響するかは不明。

(伊東委員) 書き取りの宿題は確実にあるので書くことは必ず行っている。

(三原委員) 学習塾をしているが、筆順は覚えない。熟語が読めない。字が汚い。書く力は落ちている印象。

(谷川委員) 給食はコロナから個食だった。今年からグループで会食を試みているがあまり進まない。会食が広まれば残食は減ると思う。

(内山委員) 今は残食が多いのか。

(谷川委員) 学級による。落ち着かないクラスは残食が多い。

(伊東委員) 学級の雰囲気食べる量も変わる。

(山岡委員) ヘルメットは、年間帽子でもいいということになった理由は。

(石山校長) 子供の安全は最終的には保護者の判断と考えて通年とした。

(山岡委員) 昔は、三方原の地区はヘルメットと帽子がばらばらだった。夏の暑いときは汗をたくさんかくので選択でいいが、どちらか統一した方がいいのではないか。

(内山委員) ずっと前にヘルメットをかぶっていてよかったという事故があった。アンケートの「決まりを守って生活している」の項目で、守れていないと答えた子が、決まりを守ってよかったと思えるようになるといい。

11 連絡

来年度の学校経営方針について

石山校長から、第4次は浜松市教育総合計画(案)をもとに令和7年度のグランドデザインの説明があった。基本は今年度と同じだが、「自分らしさ」について大事にしたい。という旨の説明があった。

司会から、次回の議長は、伊藤委員にお願いすることで一致した。

次回会議は、令和7年1月30日(木)13時15分から3階多目的室で開催する旨の報告があった。